

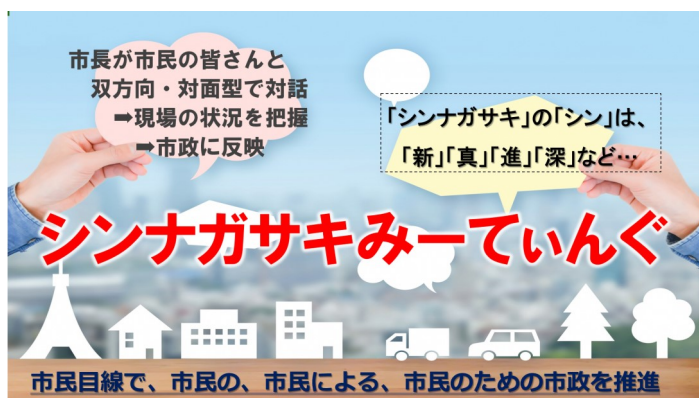
シンナガサキミーていんぐ開催レポート

i n 村松小学校区



令和6年3月10日（日）、自治会やまちづくり協議会、PTA、オヤジの会、ボランティア団体など15人の皆さんにお集まりいただき、村松小学校区の「シンナガサキミーていんぐ」を開催しました。

自己紹介では、みんなが町長になったつもりでまちを楽しむまちづくり協議会の活動「ムラマチックドリーム」の紹介や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①若い世代の自治会加入促進について

どうしても自治会に入りたいくないという若い世代が特に多く見られる。若い人に自治会加入促進のアイデアを考えていただいて、取組を進めてもらいたい。

市の考え方 回答

若者世代への自治会加入促進のための取組としては、若者向けの自治会加入促進チラシの作成や二十歳のつどい（旧成人式）での自治会加入促進動画の放映、大学の入学オリエンテーションでの説明会などを行っております。

また、今年度は現在、自治会活動に興味が無い世代に向けた動画を制作し、それを用いたPRを行う予定です。自治会は、地域の支え合いや防犯・防災など目に見えにくい部分での地域の重要な役割を担っています。

そういった自治会活動の大切さを今後、どのようにすれば若者世代に理解していただき、自治会活動に興味を持つか検討しながら加入につながる取組を行っていきたいと思います。

②伝統行事の継承について

地域の伝統行事を次の世代にずっとつないでいけるようなしくみづくりをしてほしい。

市の考え方

回答

伝統行事を自治会活動として行っている地域もあります。各自治会で地域の特性や時代に合わせたしくみづくりを行っていると思いますが、伝統行事継承を含め様々な自治会活動で担い手不足は課題として挙げられるのが現状です。

長崎市としても、次世代への継承をうまく行っている事例等は積極的に把握し、ほかの自治会へ紹介できる機会を設けたいと思います。

③子ども食堂の支援について

今後、子ども食堂をやってみようと考えているが、行政からの支援などがあれば教えてほしい。

市の考え方

回答

長崎市では、無料又は安価で食事を提供し、子どもが安心して過ごすことができる子ども食堂の開設を検討されている個人や団体に対し、その運営を熟知した「子ども食堂開設応援アドバイザー」を派遣し、開設を応援しています。

アドバイザーの派遣を希望される場合は、こども政策課にご相談ください。

そのほか、「抜け道となっている道路でスピードを出している車が多いので危険」、「暗いところが多く学校帰りの子どもの安全面が心配」、「周辺部のまちづくりについて考えを聞きたい」、「皆さんと一緒に地域を盛り上げることをしていきたい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



鈴木市長のひと言

本当に幅広い課題について、色々な意見交換できて、中には今まで気づいてなかったようなことにも気づけたんじゃないかと思います。

今後もこういう形で、地域のことについて思っていること、考えていることについて、ぜひ市役所や地域センターに対しておっしゃっていただければと思います。



参加者からの感想

市長とのマンツーマンに近い、距離感の近い対話ができ良かったです。

色々な意見が出て大変良かった。市長が直に答えたのが良かったと思う。

色々な団体の方の意見を聞き、参考になった。特に若い人の意見を聞けて、良かった。今後に活かしたい。

みんな対市長、みんなとみんな、市長を中心に、他の町の人たちも自由に意見交換することができた。

